



セキュリティに関する注意事項

- [Java Runtime Environment の更新（任意）](#)（1 ページ）
- [Tomcat ユーティリティのアップグレード](#)（1 ページ）

Java Runtime Environment の更新（任意）

Unified CCE インストーラは、Java Runtime Environment（JRE）をデフォルトの場所（例：C:\Program Files (x86)\Java\jre<バージョン>）にインストールし、JAVA_HOME 環境変数を作成してその場所に設定します。ほとんどの場合、JRE を変更または設定する必要はありません。

インストールされている JRE のバージョンについては、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/packaged-contact-center-enterprise/products-device-support-tables-list.html> の *Contact Center Enterprise* 互換性マトリクスを参照してください。

異なるバージョンの JRE を使用する必要がある場合は、JRE を新しいバージョンに更新できません。

JRE を新しいバージョンに更新するには、次のようにします。Cisco Packaged CCE ソフトウェア互換性マトリクス

1. *Contact Center Enterprise* 互換性マトリクスを参照し、インストールする JRE のバージョンが Packaged CCE でサポートされていることを確認します。
2. Oracle JRE インストーラの手順に従い、Unified CCE コンポーネントがインストールされている VM に JRE をインストールします。
3. JAVA_HOME 環境変数に新しい JRE の場所を設定します。
4. 仮想マシンを再起動します。

新しい JRE バージョンへの更新が完了したら、古い JRE をアンインストールします。

Tomcat ユーティリティのアップグレード

オプションの Cisco アップグレード Tomcat ユーティリティを使用して、次のことを実行します。

- Tomcat をバージョン 7.0 ビルドリリースにアップグレードします。(つまり、バージョン 7.0 ビルドリリースのみがこのツールで動作します)。最新のセキュリティ修正に対応するために、Tomcat リリース 7.0 の新しいビルドにアップグレードすることを選択できます。

Tomcat では、メジャー.マイナー.ビルドというリリース番号のスキームが使用されます。たとえば、7.0.62 から 7.0.90 にアップグレードできます。このツールは、メジャーバージョンまたはマイナーバージョンのアップグレードには使用できません。

- Tomcat アップグレードを元に戻します。

Tomcat の最新のビルドリリースとの互換性は保証していません。Tomcat のアップグレードによって問題が発生した場合は、ユーティリティを使用して前のリリースに戻ります。



(注) ユーティリティを使用して Tomcat を複数回アップグレードする場合は、Tomcat の 1 つのバージョンのみに戻すことができます。たとえば、Tomcat を 7.0.62 から 7.0.63 にアップグレードしてから 7.0.75 にアップグレードした場合、ユーティリティは Tomcat を 7.0.63 に復帰させることができます。

ツールを使用する前に:

- Tomcat インストーラー (apache-tomcat-version.exe) を Tomcat ウェブ サイトからダウンロードします。 <http://archive.apache.org/dist/tomcat/tomcat-7/>。インストーラーを Unified CCE コンポーネント VM にコピーします。
- ユーティリティ (<UpgradeTomcatTool <version>.jar) をダウンロードして、Unified CCE コンポーネント VM にコピーします。

ダウンロードリンク: [https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=284360381&flowid=46270&softwareid=284416107&release=11.6\(1\)&relnf=AVAILABLE&relifecycle=&reltype=latest](https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=284360381&flowid=46270&softwareid=284416107&release=11.6(1)&relnf=AVAILABLE&relifecycle=&reltype=latest)

- これらのディレクトリ内のサイズの大きいログファイルを削除またはバックアップして、アップグレード時間を短縮します:

```
c:\icm\tomcat\logs
c:\icm\debug.txt
```

アップグレード Tomcat

各ステップの結果の詳細については、以下を参照してください。/UpgradeTomcatResults/UpgradeTomcat.log ファイル。

手順

- ステップ 1** コマンドラインから、アップグレードした Tomcat ユーティリティをコピーしたディレクトリに移動します。

ステップ2 ツールを実行するには、次のコマンドを入力します。 **Java -jar UpgradeTomcatTool <バージョン>.jar-upgrade**

次に例を示します。

```
java -jar UpgradeTomcatTool-11.6.1.jar -upgrade
```

ステップ3 プロンプトが表示されたら、新しい Tomcat インストーラーの完全パス名を入力します。

次に例を示します。

```
c:\tomcatInstaller\apache-tomcat-7.0.90.exe
```

ステップ4 プロンプトが表示されたら、**[はい]** を入力してアップグレードを続行します。

ステップ5 すべての Unified CCE コンポーネント VM に対して、これらの手順を繰り返します。

Tomcat を元に戻す

各ステップの結果の詳細については、以下を参照してください。 /UpgradeTomcatResults/UpgradeTomcat.log ファイル。

手順

ステップ1 コマンドラインから、アップグレードした Tomcat ユーティリティをコピーしたディレクトリに移動します。

ステップ2 ツールを実行するには、次のコマンドを入力します。 **Java -jar UpgradeTomcatTool-<バージョン>.jar-revert**

次に例を示します。

```
java -jar UpgradeTomcatTool-11.6.1.jar -revert
```

ステップ3 プロンプトが表示されたら、**[はい]** を入力してバージョン変更を続行します。

ステップ4 すべての Unified CCE コンポーネント VM に対して、これらの手順を繰り返します。
